

# 増補新版 ペルシア文芸思潮

## 黒柳恒男【著】

四六判・上製・464頁・定価：本体2800円＋税

イランの精髓は文学に学べ——入門書の決定版が新たな装いで復活

初版刊行から45年を経てなお、日本語で読める唯一のペルシア文学概説書が、新しく充実した文献案内とより網羅的な索引等を収録して復活！ 千年以上にわたる近世ペルシア語文学の流れを、ふんだんに詩作品の翻訳を交えながら、一般読者にも読みやすいよう平明かつ簡潔にまとめた1冊。イランの人々の精神文化の中心にある、フィルドゥスイー、オマル・ハイヤーム、サアディー、ルーミー、ハーフィズらの古典詩に、日本語で一度に触れられるのは本書以外にない。各時代の文学潮流を知るにとどまらず、イラン通史、特に文化史を理解する道しるべとなる。



### ■黒柳恒男(クロヤナギツネオ)

1925-2014年。ペルシア文学者、ペルシア語学者。東京外国語大学名誉教授。1988年には日本で初めての本格的な『ペルシア語辞典』（大学書林）を編纂、執筆。著書に『ペルシアの詩人たち』（オリエント選書、東京新聞出版局、1980年）、『ペルシア語四週間』（大学書林、1982年）、『アラビア語・ペルシア語・ウルドゥー語対照文法』（同、2002年）など。翻訳に、フィルドゥスイー『王書—ペルシア英雄叙事詩』（平凡社東洋文庫、1969年）、カイ・カーウース、ニザーミー『ペルシア逸話集—カーブースの書／四つの講話』（同、1969年）、ニザーミー『七王妃物語』（同、1971年）、オマル・ハイヤーム『ルバーイヤート』（大学書林、1983年）、サアディー『薔薇園』（同、1985年）、『果樹園』（平凡社東洋文庫、2010年）、アッタール『鳥の言葉—ペルシア神秘主義比喩物語詩』（同、2012年）などがある。

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：東京外国語大学出版会 TEL.042-330-5559 FAX.042-330-5199
			黒柳恒男【著】 <b>増補新版</b> <b>ペルシア文芸思潮</b> 四六判・上製・464頁・定価：本体2800円＋税
		冊	ISBN978-4-904575-93-2 C0098 ¥2800E

ご注文はJRCへ →FAX. 03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い